

参考資料1

平成30年度 事務事業評価（案）

（事務事業マネジメントシート、事務事業管理シート）

教育環境の充実	．．．．	1
互いに尊重し、 協力し合う社会の充実	．．．．	7
計画的かつ効率的な行政経営	．．．．	11

事務事業の概要

事務事業名	教育相談事業					予算事業番号	414
所管名	教育子ども部教育政策課政策係					所管番号	430101
事務区分	その他事務	事業期間	H 10 年度 ~ H 年度	終了見込有無		無	
根拠法令等							
第2次宗像市 総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	教育環境の充実		区分	教育相談体制の充実
	施策の方向性	学校は次世代を担う児童・生徒が学ぶ場であるため、社会環境の変化に合わせた適切な運営が求められます。児童・生徒が安心して自ら学校に行きたいと思うことができるよう、学びの場として充実した環境を整備していきます。					

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	市立小中学校	が 教育相談機能を高め、児童生徒の抱える心の問題を子ども相談支援センターと連携し、改善・解決し、不登校やいじめ等の生徒指導上の諸問題の解決につなげる。

H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H30年度の活動内容		市内すべての中学校と教育委員会にスクールカウンセラー（臨床心理士）を配置し、児童生徒へのカウンセリング、教職員及び保護者に対するカウンセリング等に関する助言・援助、児童生徒等の心のケアを中心とした指導助言等を行った。 教育委員会に教育相談員を設置し、地域や保護者からの学校に関する相談・要望等に対応した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	相談解決率	教育相談員が受け付けた相談のうち、解決につながった割合	%	100	100	100	100
活動指標	スクールカウンセラー相談受付件数	スクールカウンセラーが受け付けた相談件数	件	2,326	2,264	2,301	
	教育相談員相談受付件数	教育相談員が受け付けた相談件数(のべ件数)	件	61	70	43	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		4,768	5,193	5,507		314	
特定財源(千円)		811	805	0		▲ 805	
一般財源(千円)		3,957	4,388	5,507		1,119	

H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)		課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因			
成果指標	→	学校等からの相談、児童生徒等への心のケア、さまざまな問題を抱える児童生徒等に対して福祉的側面から支援など教育相談の取組みは、昨年度よりのべ件数は減少したものの、実対応数は増加に転じており、施策の方向性である学びの環境の充実を図った。		学びの環境をより一層充実させるためには、学校外での様々な問題を抱える児童生徒等に対する支援の充実が必要となる。引き続き、子ども相談支援センターをはじめとする関係機関との連携強化等を図っていく。
活動指標	→			
事業費	↑			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	学校適応指導教室運営事業				予算事業番号	1523
所管名	教育子ども部子ども支援課				所管番号	430101
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度 ~ H	年度	終了見込有無
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	教育環境の充実	区分	教育相談体制の充実
	施策の方向性	学校は次世代を担う児童・生徒が学ぶ場であるため、社会環境の変化に合わせた適切な運営が求められます。児童・生徒が安心して自ら学校に行きたいと思うことができるよう、学びの場として充実した環境を整備していきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	不登校の児童生徒	が	共同生活の中で自立する力を養われ、学校に復帰して楽しい学校生活を送る。
----	----------	---	-------------------------------------



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		学校適応指導教室を運営して、通室生に対する集団適応指導・生活習慣指導・体験活動・個に応じた学習指導・教育相談等により学校復帰に向けた意欲の醸成等を図るとともに、関係機関との連携、保護者支援を行った。また、市内の小中学校に在籍する不登校児童生徒に関する情報収集と情報交換を行い、学校と連携して通室につなげるための働きかけを行った。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	通室者の学校復帰率	通室生の不登校解消率	%	40	35	30	70
活動指標	通室者数	適応指導教室に通室(仮入室含)した児童生徒の数	人	15	17	18	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		6,931	6,957	4,749		▲ 2,208	
特定財源(千円)		0	0			0	
一般財源(千円)		6,931	6,957	4,749		▲ 2,208	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	・不登校の子どもが増加傾向にある中で、不登校を解消するため、対人関係の改善や学習意欲の向上を図る本事業は、教育環境の充実のため、欠くことができない事業となっている。	・不登校で適応指導教室にも通うことができていない児童・生徒の割合が不登校児童・生徒の70%近くに達しているため、平成31年度から新事業で対応したい。・不登校で情緒障害がある児童・生徒の受け入れ態勢が整っていないため、今後検討する。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	学校・家庭・地域連携食育推進業務					予算事業 番号	1780
所管名	教育子ども部学校管理課給食係					所管番号	430202
事務区分	その他事務	事業期間	H	17	年度～H	年度	終了見込有無
根拠法令等	食育基本法・学校給食法						
第2次宗像市 総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	教育環境の充実		区分	よりよい学校給食の推進
	施策の 方向性	学校は次世代を担う児童・生徒が学ぶ場であるため、社会環境の変化に合わせた適切な運営が求められます。 児童・生徒が安心して自ら学校に行きたいと思うことができるよう、学びの場として充実した環境を整備していきま す。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	市内小中学校児童生徒	生涯にわたり健康的で豊かな生活を送ることができるようになることを目指し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせる。



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H30年度の活動内容	小学校(義務教育学校前期課程を含む)全校において、食育事業が確実に実施されるよう、具体的な取組事例のアドバイスやゲストティチャーの調整などを積極的に行い、米づくりや豆腐づくりなど各学校の工夫を凝らした事業の実施につなげた。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
成果指標	学校・家庭・地域連携食育事業実施割合	%	86.7	86.7	100	100	
活動指標	学校給食をととした食の指導実施学校数	校	22	22	21		
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	前年度比		
事業費(千円)		861	670	606	▲ 64		
特定財源(千円)		0	0	464	464		
一般財源(千円)		861	670	142	▲ 528		



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	児童が生産者の苦労や喜び、食の大切さを感じとり、感謝の気持ちを持つことができた。また、宗像の歴史、食材、こだわりなど、宗像の良さに気づき、それを学び継承しようとする意識を醸成することができた。	食育に従事する職員等の意識とスキルの向上を図りつつ、生きた教材である給食を中心とした食育の推進を目指す必要がある。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

事務事業の目的

H30年度の事務事業の内容

H30年度の事務事業の評価

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績4

事務事業の概要

事務事業名	学校図書館事業					予算事業番号	1524
所管名	教育子ども部図書課図書館係					所管番号	430603
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度	～ H 年度	終了見込有無	無
根拠法令等							
第2次宗像市 総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	教育環境の充実		区分	学校図書館機能の充実
	施策の 方向性	学校は次世代を担う児童・生徒が学ぶ場であるため、社会環境の変化に合わせた適切な運営が求められます。 児童・生徒が安心して自ら学校に行きたいと思うことができるよう、学びの場として充実した環境を整備していきます。					

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	児童・生徒	が	学校図書館を通して、読書の楽しさを知るとともに情報活用能力が養われることで、豊かな心が育ち、自ら考え、調べ、行動する生きる力を身につける。
----	-------	---	---

H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		学校司書のスキルアップを図るため、各種研修会を開催した。また、図書館担当教諭を含めた学校との連携を図るため、図書館教育担当者研修会を行った。市図書館を使った調べる学習コンクール、小学生読書リーダー養成講座、中学生読書サポーター養成講座を開催した。・学校図書館機能を十分に発揮するため、調べ学習用図書の購入と、平成29年度に全学校図書館に配置したインターネット接続用パソコンにより児童、生徒の情報検索環境の向上を図った。						
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
成果指標	学校図書館活用時数	1学級当たりの図書館活用の時数	時間	小:30中:13	小:27中:11	小:25中:10	小:30中:10	
	貸出冊数	1人当たりの年間貸出冊数	冊	小:79中:11	小:83中:13	小:85中:13	小:80中:16	
活動指標	授業支援の回数	1学級当たりの資料提供回数	回	6.9	6.7	4.7		
	図書標準達成校	文部科学省設定学校図書館図書標準による	校	19	20	21		
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比		
事業費(千円)		58,973	67,185	67,185		0		
特定財源(千円)		0	5,285	0		▲ 5,285		
一般財源(千円)		58,973	61,900	67,185		5,285		

H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→ 学校図書館活用時数及び授業支援回数は前年度を下回ったが、小学校における貸出冊数は学校司書の積極的な働きかけによって前年度を上回った。また、図書標準冊数を達成していない学校は地島小を残すのみとなった。	第13回図書館を使った調べる学習コンクールを実施し、41作品を全国コンクールに出品した。調べ学習用資料の充実と情報検索環境の向上は、自ら考え、調べる力を身につけることにつながった。	学校図書館活用時数、貸出冊数を向上させるためには、学校司書と司書教諭、図書館担当教諭との連携が必要である。そのため、今後は、充実した研修会の開催に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	→		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
	図書館を使った調べる学習コンクール、小学生読書リーダー養成講座、中学生読書サポーター養成講座の開催と充実	図書館を使った調べる学習コンクールを開催し、2,200点を超える応募があった。小学生読書リーダー養成講座、中学生読書サポーター養成講座を開催し、学校における読書活動の推進を図った。
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
	学校図書館を活用した授業の取組み	授業に役立つ資料の提供を実施し、「図書の時間」において、学校司書が読書及び調べ学習等を支援した。

施策名:教育環境の充実（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費(千円)		
					指標名	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向
1	学校施設維持補修事業	学校管理課管理係	児童・生徒及び教職員や学校を利用する関係者が、充実した施設環境の中で、安全安心に学校を利用できる状況にする。	東郷小学校体育館天井塗装補修工事、日の里小学校1, 2階廊下下EXP.J他改修工事、玄海東小学校ランドセル保管棚他修理工事、赤間小学校運動場防球ネット整備工事、赤間小学校電話設備更新工事、中央中学校駐輪場センサー照明取付工事、河東中学校管理棟廊下外部EXPj補修工事、玄海中学校音楽室屋上防水補修工事等の補修97件(小学校61件・中学校36件)。修繕については64件(小学校:43件・中学校21件)	施設に関する修繕及び補修工事発注件数	件	168	130	↓	48,291	49,661	↑
2	学校運営事務	学校管理課管理係	学校関係者(児童生徒、教職員)に対して、全小中学校が支障なく学校運営を行える環境を保持することを目指す。	施設・設備の安全点検。学校に対する人的支援。適正な予算執行管理。	学校からの相談に助言をした件数	件	12	15	↑	290,194	272,100	↓
3	学校運営備品整備業務	学校管理課管理係	小中学校の教職員に対して、円滑に学校運営管理が出来る状態にする	机、椅子、事務機器等学校の管理運営に必要な備品購入を行う。	備品購入伺い回数	件	25	17	↓	8,290	7,540	↓
4	学校管理一般事務	学校管理課管理係	教職員に対して、学校運営に支障がなく、健全な経営に寄与できる状態を継続する	日々任用職員の活用、学校用国旗の購入、職員研修の推進、施設台帳に係る図面修正、文書配達等の実施。	支出命令作成件数	件	58	64	↑	10,603	2,102	↓
5	城山中学校整備事業	学校管理課管理係	全ての城山中学校に関係する市民等に対して、安全安心な教育環境の提供と健全な小中一貫教育が実施されるような状態にする。	基本方針に基づき、改築に向けた諸条件の検討を行う。	改築に対する会議及び協議回数	回	3	9	↑	0	0	→

事務事業の概要

事務事業名	男女共同参画推進事業				予算事業番号	75
所管名	市民協働環境部男女共同参画推進課				所管番号	320201
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度 ~ H	年度	終了見込有無
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、宗像市男女共同参画推進条例					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	互いに尊重し、協力し合う社会の充実	区分	男女共同参画の推進
	施策の方向性	市民には、出生や性別に関係なく、平等に生活、活躍できる権利があります。その権利を守りながら、市民がお互いに支え、協力し合うことで、誰もが幸せを感じることができる環境を整備していきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市民・市職員・事業所	が	男女共同参画意識が向上する。男女が性別にとらわれず、あらゆる場面で個性と能力を発揮し、ともに参画できるようになる。
----	------------	---	---



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		第2次男女共同参画プラン(後期)の適切な進行管理(男女共同参画推進懇話会の開催など)を行った。審議会等委員の女性委員登用促進に努めた。市民活動団体との共催により男女共同参画週間事業講演会及びゆいフェスタ等啓発事業を実施した。 啓発活動拡大のためにコミュニティ訪問を実施した。 市民意識調査(5年毎)を実施した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	男女共同参画プラン事業達成度	男女共同参画プラン事業達成度B以上の事業	%	98	96.6	95.4	98
	審議会等委員の女性登用率		%	35.9	36.5	37.8	47
活動指標	男女共同参画推進懇話会開催数		回	2	2	2	
	女性委員等登用促進啓発回数	各コミュニティへの登用依頼、市審議会等への登用依頼	回	1	1	1	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		2,390	1,683	2,311		628	
特定財源(千円)		0	0	0		0	
一般財源(千円)		2,390	1,683	2,311		628	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→ 成果指標であるプラン達成度と女性登用率、活動指標である懇話会の開催数は、前年度並みであった。	女性登用率向上のために事前協議やコミュニティへの働きかけを行うことで、女性登用率はわずかではあるが上昇傾向にある。	女性登用率を向上させるためには、女性参画のさらなる推進が必要である。そのため、今後はコミュニティ地区単位での啓発活動や、女性活躍推進事業に取り組んでいく。
活動指標	→ 事業費は、5年に1度の市民意識調査を実施したため、前年度から628千円増加した。		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

施策名：互いに尊重し、協力し合う社会の充実（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費(千円)		
					指標名	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向
1	人権教育啓発事業	人権対策課人権啓発調整係	小中学生、市民、企業が、人権問題に関する啓発や講演会、人権相談を通じて、市民がお互いを尊重し、差別問題が発生しないように努める。また、庁内職員への研修を行うことで、各職員が職務のなかで、人権問題をいち早く察知し、適切な対処が行えるように努める。	地域からの人権啓発を推進するため、地域コミュニティと連携した啓発を実施する。①学校との連携を重視し訪問型講演会を実施。②各コミュニティまつり等と連携した啓発活動の実施③人権教育・啓発推進協議会の活性化を図る。	研修会・講演会等の参加者	人	695	565	↓	6,680	6,799	↑
2	人権対策推進事業	人権対策課人権啓発調整係	市内からあらゆる差別がなくなり、人権が尊重される街になるために運動団体との連携を図り、差別撤廃に対し取り組みを行う。	人権運動団体に補助金を支出し、差別解消のための啓発及び活動を実施する。また、団体などの主催の研修会に参加し、各県での情報を学び、当市での啓発活動に取り入れる。その他、運動団体等との会議、宗像地区雇用促進連絡会議の開催、関係各課との調整を行い、雇用対策を行う。	研修会参加人数	人	52	46	↓	8,757	8,636	↓
3	住宅新築資金等貸付回収事業	人権対策課人権啓発調整係	個々の状況に応じた適正な回収を行うことで、不能欠損が生じることなく、完済に誘導できる。また、悪質滞納者に対しては、法的な措置を講じ、公平性を担保する。	滞納者に対し督促状、催告書の送付、個別訪問等を行う。また、実情に則し、抵当権設定、法的措置等を実行する。	新築・宅地等貸付滞納件数	件	34	33	↓	7,728	3,425	↓
4	男女共同参画相談事業	男女共同参画推進課推進係	DVやセクハラ、夫婦や家族・対人関係、こころの問題などあらゆる相談及び離婚や相続などの法的な問題に関する相談を専門の相談員が問題解決に向けて支援やアドバイスをすることにより、相談者が悩みや不安を解消し社会参画できるようになる。	「こころと生き方の相談」は、市役所内の相談室で、毎週月～金曜日の13時から17時に相談事業を実施する。「法律相談」は、男女共同参画推進センターで、毎月第3火曜日の13時～16時に相談事業を実施する。DV被害者等に対し、問題解決に向けて支援や助言を行い、必要に応じて、庁内の関係部署や他の機関と連携して対応する。女性支援相談員を配置し、主に困難を抱えた女性等に対する支援を行う。	相談件数	件	1,585	1,966	↑	5,736	5,848	↑
5	男女共同参画推進センター事業	男女共同参画推進課推進係	市民の男女共同参画意識を醸成するため、啓発を行う。男女共同参画社会の実現に向けて復職を含め就労や資格取得支援の実施と情報提供を行うことで自立や再就職につなげていく。	男女共同参画推進センター管理運営業務を市民サービス協働化提案制度により市民活動団体に委託。受託団体によるセンター事業（啓発講座・資格取得講座等）の企画・実施。	講座等参加者数	人	2,962	3,649	↑	15,220	15,220	→

事務事業の概要

事務事業名	総務一般事務				予算事業番号	9
所管名	総務部総務課行政係				所管番号	300101
事務区分		事業期間	H 年度 ~ H 年度	年度	終了見込有無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営	区分	持続可能な行政経営
	施策の方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	①市民②職員	が	①電話・来庁の目的を達成できるように、又は、なんでも気軽に相談し課題が解消できるようになる。 ②業務遂行にあたり、効率的な事務処理及び経費削減を目指す。
----	--------	---	---



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		・市民に電話交換及び総合案内サービス、なんでも相談を提供。 ・派遣労働者との定期的な調整会議を行い、事務に関する業務の調整・進行管理を行った。 ・平和事業について、平和祈念式典を実施した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	電話交換、総合案内業務に対する苦情件数	市民等からの苦情件数	件		1	2	
	人件費の抑制	正規職員2.5人分(27年度まで)・1.5人分(28年度から)(1人8,000千円と委託費との差額	千円	6,941	6,888	6,825	
活動指標							
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		30,293	33,479	32,550		▲ 929	
特定財源(千円)		80	94	80		▲ 14	
一般財源(千円)		30,213	33,385	32,470		▲ 915	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	電話交換・総合案内業務の実施により、市民への担当窓口案内と各課の市民対応が円滑に行われた。派遣労働者導入は、人件費削減の成果があり、効率的な行政経営の推進につながっている。	市民の要望をよく聞きとり、担当課へのつなぎをスムーズに行う。
活動指標			
事業費	→		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
協働の推進	市民や関係団体と協働して、将来を見据えた施策や事業の評価を行います。	市民団体と協働して、平和記念式典を実施した。また今後の事業内容について協議を行った。
	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進		

事務事業の概要

事務事業名	企画一般事務					予算事業番号	48
所管名	経営企画部経営企画課企画係					所管番号	310101
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度	～ H 年度	終了見込有無	
根拠法令等	地自法に基づく共同処理規約、任意規約等						
第2次宗像市 総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営		区分	健全な財政運営
	施策の方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	庁内各部署及び当該事業の実施に係る関係者	が 市が抱える課題や社会的課題に対応するための施策や、効果的かつ効率的な事業の提案、実施ができる状態になることを目指す。



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H30年度の活動内容		市が抱える課題や社会的課題に対して、経営会議等関係会議を通じた庁内調整及び、宗像地区一部事務組合等の他組織との連携調整などを行い、課題解決のための施策や事業の調査研究、実施に取り組んだ。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標							
活動指標	庁内調整事業件数	経営会議協議案件数	件	35	49	31	
	広域連携協議体数	経営企画課所管の自治体広域連携協議体数	件	5	5	5	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		2,125	3,990	2,604		▲ 1,386	
特定財源(千円)		157	1	188		187	
一般財源(千円)		1,968	3,989	2,416		▲ 1,573	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	庁内調整事業件数の増加は、条例改正や連携協定案件、各種計画改定案件等の増加により、経営会議協議案件数が増加したことによるもの。	様々な案件を経営会議等で協議することにより、事業実施にあたっての庁内調整や事業のスムーズな進捗がはかられた。	庁議、経営会議等の庁内会議の役割を整理し、さらに活発な議論ができるような体制を構築する。
活動指標	広域連携協議体数は、増減なし。	広域連携については、協議体数自体は変わらないものの、活発な議論、事業を共同で行った。	広域連携については、さらに議論を活発化し、それぞれの抱える問題の解決が図られるような実効性のある取組を模索していく。
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
	大学やコミュニティ関係者等による総合計画等推進委員会を組織し、総合計画施策や総合戦略アクションプランの評価・進捗管理を行う。	合計3回の総合計画等推進委員会を開催し、8つの施策と総合戦略アクションプランの評価・進捗管理を行った。
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	行財政改革推進事業				予算事業番号	57
所管名	経営企画部経営企画課行政改革係				所管番号	310102
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度～H	年度	終了見込有無
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営	区分	持続可能な行政経営
	施策の方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市の執行機関に対して	が	行財政改革の推進を図り、業務改善により事務事業の無駄を省くとともに市民サービスの向上及び、より効果的・効率的な行政経営を目指す。
----	------------	---	--



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		行政経営改革プランの進捗管理を行った。 使用料等に関する消費税の見直し準備を行った。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	第3次行財政改革プラン効果額	行政経営改革プランによる効果実績額(類型額)	千円	1,518,563	2,711,140	3,780,018	1,870,010
	第3次行財政改革プラン効果額の達成率	アクションプランの達成率Aの割合	%	45.5	59.1	63.2	100
活動指標	第3次行財政改革プラン数	当該年度のアクションプランの実施件数	件	21	21	19	
	行革委員会開催回数	回/年	回	7	4	1	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		220	142	37		▲ 105	
特定財源(千円)		0	0	0		0	
一般財源(千円)		220	142	37		▲ 105	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較		指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	活動指標である行革委員会の開催件数は前年度分アクションプランの結果審査のみであったため、回数が減少した。	成果指標であるアクションプランの効果実績額は、関係各課の努力により大幅に目標を上回り、健全な財政運営に寄与した。	今後も、着実なプランの実行が求められる。
活動指標	↓			
事業費	↓			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	都市戦略推進事業					予算事業番号	1624
所管名	総務部秘書政策課					所管番号	390101
事務区分	その他事務		事業期間	H 25 年度 ~ H 一 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等							
第2次宗像市 総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営		区分	持続可能な行政経営
	施策の方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	市	が重要施策や特命案件等について調査研究、組織間の調整を行うことで、都市ブランドの確立や市の活性化を推進するとともに、事業進捗のスピードアップを図る。



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H30年度の活動内容		都市ブランドの確立による交流人口、ひいては定住人口の増加を図るため、地域活性化策についての調査研究を行った。特に、市内の公有地・民有地の有効利活用、世界遺産のある自治体として望ましいまちづくりのあり方等について、国県や民間との連携を通じて、これらの取組みが相乗効果が得られるよう検討を進めた。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	包括連携協定に基づく事業数	包括連携協定を締結した企業との連携事業数	件	13	36	52	30
活動指標	新規包括連携協定締結数	新たに民間企業等と包括連携協定を締結した件数	件	2	5	1	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		31,635	14,395	1,859		▲ 12,536	
特定財源(千円)		7,950	5,552	0		▲ 5,552	
一般財源(千円)		23,685	8,843	1,859		▲ 6,984	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑ 地方創生を契機とした連携協定締結も減少傾向にあり、新規包括連携協定数は減少した。一方で、事業の具体化が進み、連携事業数は増加した。事業費は団地再生に係る事業費の都市再生課移管に伴い減額となった。	世界遺産を活用したまちづくりや産学官民連携による各種施策の推進により、都市としてのブランド力の向上や地域活性化につながった。	重点政策の総合調整を行う経営企画課と連携しながら、地域活性化を推進すべく引き続き調査研究を行う。
活動指標	↓		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
協働の推進	市民や民間企業、大学等との連携を推進し、それぞれの強みを活かしながら、長期的展望に立ったまちづくりについての調査研究を行う。	新たに民間企業1社と包括連携協定を締結するなど、産学官民連携によるまちづくりの推進を図った。
	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進		

事務事業の概要

事務事業名	ふるさと寄附事業				予算事業番号	1798
所管名	経営企画部財政課ふるさと寄附係				所管番号	310403
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度 ~ H	年度	終了見込有無
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営	区分	健全な財政運営
	施策の方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	宗像市及び市内特産品	が 全国へ広まり、宗像ファンの獲得及び増加につながることを目指す。



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H30年度の活動内容	更なる寄附額の増加、全国へのPRを行うため、メディアなど各種媒体への広告展開、イベントなどを実施した。市のイベントなど、関係部署と連携を行いながら効果的にPRを実施した。事業者との勉強会を定期的に開催し、市内産業の活性化につなげるための支援を実施した。新しい特産品の開発、発掘、参加事業者の新規参入に向け、積極的に事業者へPRおよび支援を実施した。ふるさと寄附を通じて、より宗像をPRできるよう、特産品に関する情報で今まで発信できていなかった生産者の様子や製造の過程などをSNSを活用して発信し、特産品が作られる背景や宗像についてより知っていただける仕組み作りを実施した。企業版ふるさと納税について、寄附企業の募集PRを行い、遅滞なく処理を行った。クラウドファンディングについて、寄附者の共感を得やすい事業内容を選定し、遅滞なく処理を行った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
成果指標	寄附金額	寄附総額	千円	678,303	1,561,496	1,590,572	1,000,000
活動指標							
事業費(千円)		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	前年度比		
特定財源(千円)			779,051	874,037	94,986		
一般財源(千円)			617,587		▲ 617,587		
			161,464	874,037	712,573		



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	ふるさと寄附の取組みは全国での宗像ファンの獲得及び増加といった成果があり、施策の方向性である「開かれた行政経営」の推進に繋がった。	ふるさと納税に係る指定制度の施行により、ふるさと寄附を集めるためのルールが厳格化された中、寄附金額を向上させるためには、リピーターの獲得が不可欠である。そのため、今後は寄附者に対してより効果的な情報発信を行うことにより、リピーターの獲得に取り組んでいく。
活動指標			
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
	ふるさと寄附を通じて、特産品が生産される背景や人々の様子、文化を発信し、全国へ宗像市の魅力を発信する。	寄附者へのお礼状やカタログの発送を通じて、特産品が生産される背景や人々の様子、文化を発信し、全国へ宗像市の魅力を発信する。

事務事業の概要

事務事業名	収納管理徴収事務					予算事業 番号	97
所管名	経営企画部経営企画課企画係					所管番号	310101
事務区分	法定受託事務	事業期間	H	年度 ~	H	年度	終了見込有無
根拠法令等	地方税法、国税徴収法、宗像市税条例 など						
第2次宗像市 総合計画	政策	みんなで取り組むまち づくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営		区分	健全な財政運営
	施策の 方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	租税、公課及び強制徴収公債権の納付義務者	が	収納率の維持向上
----	----------------------	---	----------



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		地方税法等法令に規定された権限を駆使して、適時、滞納租税をはじめ、公課、強制徴収公債権の滞納整理にあたった。 宗像市ファイナンシャルプランニング業務を実施した。 収納率向上のため、コンビニエンス収納や口座振替納付を推進した。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	市税収納率	市税(国保除く)の収納率(現+滞)	%	97.1	97.2	97.1	94
	国保収納率	国保税の収納率(現+滞)	%	91.4	91.7	91.9	80
活動指標	ファイナンシャルプランニング相談実施件数	相談を行った件数		73	39	32	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		17,093	17,916	23,238		5,322	
特定財源(千円)		251	185	121		▲ 64	
一般財源(千円)		16,842	17,731	23,117		5,386	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	高い収納率を概ね維持できたことは、自主財源を安定的に確保するという成果を生んでおり、健全な財政運営に貢献している。	活動指標であるファイナンシャルプランニング相談事業については、潜在的なニーズが見込まれるため、今後ニーズの掘り起こしに努め、事業の拡充を図る。
活動指標	↓		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
都市ブランドの推進		

事務事業の概要

事務事業名	組織運営事業					予算事業 番号	17
所管名	総務部人事課					所管番号	300201
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度 ~ H	年度	終了見込有無	無
根拠法令等	地方自治法、地方公務員法、宗像市職員定数条例、宗像市行政組織条例						
第2次宗像市 総合計画	政策	みんなで取り組むまち づくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営		区分	人材の育成・活用と組織力の強化
	施策の 方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。					



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	職員一人ひとり	が	保有する能力を発揮し、また効率的で有効な人員体制の実現を目指す
----	---------	---	---------------------------------



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H30年度の活動内容		平成29年6月に定員管理の指針を策定し、これに基づき、正職員ほか、再任用職員、任期付職員などの多様な人材の採用、人員配置を行った。そのほか、人事異動の実施、女性活躍推進事業の実施、給与等の額の積算及び決定、人件費予算の適切な管理などを行った。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	市民アンケート	職員が要望や気持ちを汲みとった適切な対応をしていると思う市民の割合	%	72	76	56	75
	職員アンケート	現在の職務に対し自分の能力が発揮できているかの問いに対しそう思わない、どちらかと言えばそう思わないと回答した職員の割合	%	10	11	11	10
活動指標	人事異動回数	人事異動を発令した回数	回	8	4	3	
	採用試験実施回数	任期に定めのない職員の採用試験実施回数	回	5	2	3	
		H28年度決算	H29年度決算		H30年度決算		前年度比
事業費(千円)		19,998	27,347		19,381		▲ 7,966
特定財源(千円)		0	0		0		0
一般財源(千円)		19,998	27,347		19,381		▲ 7,966



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	質の高い行政サービスを行うため、計画的に人材を確保するほか、職員の適性を見極め、最適な人員配置に努めた。これらの取組みにより、各施策の推進に資する組織体制の整備を行った。	近年、長時間労働が高止まりしている。職員のワークライフバランスを実現するため、その削減に積極的に着手する。人員の確保、多様な人材の活用、メリハリある働き方をすすめ、市民の期待に応える組織運営に努める。
活動指標	→		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	職員研修事業				予算事業番号	19
所管名	総務部人事課人事係				所管番号	300201
事務区分	その他事務	事業期間	H	年度 ~ H	年度	終了見込有無
根拠法令等	宗像市職員の勤務能率の増進及び発揮並びに職員研修に関する規程					
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	計画的かつ効率的な行政経営	区分	人材の育成・活用と組織力の強化
	施策の方向性	質の高い行政サービスの提供や事務事業を実施するために、職員の能力開発や意欲の向上、組織の強化、健全な財政運営に努め、市民が納得できる行政経営を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)」がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	職員	が 市役所内外の研修を通じて、職員個々の能力や意欲を向上させ、組織の能力を最大化し、市民の期待に応える行政サービスを提供する。



H30年度の事務事業の内容

H30年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H30年度の活動内容		①階層別研修の実施・・・初任層職務支援研修(採用1～3年目対象)、新任課長係長研修 ②課題別研修の実施・・・法制研修、財政研修、タイムマネジメント研修、キャリアデザイン研修等の課題対応能力を高める研修の実施 ③ふるさと寄付金を活用したeラーニング、海外研修の実施。					
指標名		指標の説明・算定式	単位	実績			目標
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
成果指標	能力考課	人事考課における能力考課の平均値	点	67.2	67.5	67.3	67
活動指標	市独自研修の受講者数	市独自研修を受講した人数	人	1,041	452	448	
	外部研修の受講者数	研修所等で研修を受講した人数	人	123	138	150	
		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算		前年度比	
事業費(千円)		10,698	12,942	10,512		▲ 2,430	
特定財源(千円)		2,860	3,000	1,616		▲ 1,384	
一般財源(千円)		7,838	9,942	8,896		▲ 1,046	



H30年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	活動指標である「外部研修の受講者数」は上昇した。これは様々な研修に関して各課への情報提供を徹底し、積極的な受講を促したためである。	外部研修への参加は、他市町村の職員との情報交換、最新情報や知識の習得など職員の資質向上に大きく寄与するものである。職員の質の向上により、質の高い行政サービスにもつながっている。
活動指標	↑		成果指標の目標値を維持するため、人事考課制度に関する研修が必要である。そのため、今後は管理者を対象に人事考課制度に関する研修を実施する。
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H30年度の取組内容	H30年度の取組内容に対する実績

施策名:計画的かつ効率的な行政経営（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費(千円)		
					指標名	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向
1	訴訟等関係事業	総務課行政係	市が実施する事業等について、法的な疑義が生じた場合に法律家にアドバイスを仰ぎ、その解決を図るとともに、訴訟を提起する際、提起された際に弁護士を訴訟代理人として選任し、訴訟事務を円滑に遂行する。	日常業務にかかる法律相談及び市が、訴訟を提起する際等に弁護士を訴訟代理人として選任し、問題の解決を図る。	訴訟件数	件	1	1	→	2,383	2,384	↑
2	指定管理者制度運用事業	総務課行政係	市の施設に対し、指定管理者制度を導入することにより、市民ニーズにそった施設運営、市民サービスの向上、利用人員や利用率の向上、管理コストの削減を図る。	平成29年度末で指定期間が満了する23施設(コミセン、学童、宗像ユリックス、東部観光拠点施設等)の指定管理者の指定に関して選定委員会を開催する。	指定管理者決定件数	件	24	0	↓	545	0	↓
3	政治倫理事業	総務課行政係	市長をはじめとする特別職、市議会議員などが、公正で開かれた民主的な市政を実現するために資産等を公開する。	資産等報告審査会…市長等及び議員から提出される資産等報告書の審査を行う。(市長及び議員は配偶者を含む。)政治倫理審査会…調査を求められた場合には速やかに対応し、意見書を作成する。	資産報告審査率	%	100	100	→	108	108	→
4	選挙管理委員会事業	総務課行政係	選挙人、被選挙人(「将来の」も含む)が、選挙に関して啓発され、選挙が公正に執行され、⇒政治的教養を持ち、公正な選挙執行のもと、民主主義社会の健全な発展に寄与する。	選挙の適正な執行のため委員会を運営する。選挙人名簿の定時登録、海区漁業調整委員の選挙人名簿調製、裁判員・検察審査員候補者の選任、在外選挙人名簿の調製を行う。	小学校選挙出前講座参加者数	人	50	160	↑	1,635	1,553	↓
5	選挙執行事業	総務課行政係	選挙人、被選挙人が、公職選挙法に則り、公平公正な選挙で公職を選び、民主主義の健全な発展を図る。	平成30年5月任期満了に伴う市長選挙、平成31年4月任期満了に伴う県知事、県議選挙を適正に執行する。	公職の候補者の公正な選挙運動を指導する	件	15	5	↓	34,595	31,199	↓
6	戸籍・住民基本台帳一般事務費	市民課市民係	住民基本台帳に登録されている住民及び、宗像市に本籍を有している人に対し、正確かつ適正に住民基本台帳事務及び戸籍事務を行う事を目指す。	・窓口業務の委託等、窓口事務の適正かつ効率的な実施。 ・繁忙期の時間外窓口開庁の定例的实施。 ・自動交付機及びコミセン交付サービスの実施。 ・H29年度中のコンビニ交付サービス開始のためのシステム開発。	証明書交付件数	件	127,332	125,455	↓	39,066	47,495	↑
7	印鑑登録事務	市民課市民係	住民からの印鑑登録に関する受付、登録、発行業務を行う。印鑑登録に関する受付、登録、発行業務を委託する事により、市民サービスの効率化を図る。	・印鑑条例に基づく事務の適正実施。	印鑑登録件数	件	4,152	3,911	↓	332	279	↓
8	住民基本台帳事務	市民課市民係	住民基本台帳に登録されている住民に対し、住民基本台帳及び住民基本ネットワークの適正な管理を行う事により、市民サービスの向上を目指す。	・住民基本台帳法に基づく事務の適正実施。 ・住民基本台帳ネットワークの適正運用及び維持管理。 ・マイナンバーカードの普及と適正な交付事務の実施。	マイナンバーカード交付件数	件	2,827	5,467	↑	10,770	13,649	↑
9	戸籍事務	市民課市民係	戸籍制度が、日本国民の親族的な身分関係を登録し、これを公証する制度であるため、戸籍届出に関して、常に正確で迅速な事務及び情報の保全を目指す。	・戸籍法に基づく事務の適正実施。 ・船員法に基づく事務の適正実施。 ・出入国管理及び難民認定法に基づく事務の適正実施。	戸籍事件件数	件	4,999	4,838	↓	966	1,000	↑
10	公有地取得等事業	建設課用地補償係	公共事業実施担当課が、公共事業に必要な用地を取得するために、取得期間内に契約を締結し、市への所有権移転登記を行い事業用地を確保する。	公共用地等の取得に対し適正な補償額の算定を基に、地権者等に対して用地買収や補償の交渉及び契約の締結を行うとともに、税法・農地法・都市計画法・公営法等関係する部署との協議・調整を行う。あわせて契約した土地の登記の事務を行う。	成約割合	%	75	83	↑	225	226	↑
11	大島行政センター管理運営事業	商工観光課元気な島づくり係	大島行政センター窓口への来庁者が、快適に感じられるように、市民サービス満足度を高める。	行政サービスを低下させることなく効率的で効果の高い行政サービスの提供に努める。	窓口の開庁日	日	244	243	↓	9,502	9,783	↑

施策名:計画的かつ効率的な行政経営（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費(千円)		
					指標名	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向
12	戸籍事務事業(大島地区)	商工観光課元気な島づくり係	大島行政センター窓口への来庁者が、快適に感じられるように、市民サービス満足度を高める。	・窓口業務	戸籍事件件数	件	160	176	↑	224	203	↓
13	観光施設維持管理事業(大島、地島)	商工観光課元気な島づくり係	観光施設利用者が、快適に利用できるように、危険箇所等がない観光施設の管理に努める。	観光施設の上下水道管理、電気管理、トイレ清掃、松くい虫防除、大島港・神湊港ターミナルインフォメーション業務、風車保守点検業務	松くい虫防除	回	1	1	→	12,505	11,000	↓
14	公務・政策支援業務	秘書政策課秘書政策係	市長・副市長が、来客者の対応や公務の受付・スケジュール管理を行う。また、市を代表しての慶弔レタックス発送や弔慰、慶祝等への支出を行う。計画的かつ効率的に市政運営ができるようにする。	秘書一般業務、公務・政策支援業務を行う。適正なスケジュール管理や来客の対応を行い、また、広く政策提案等を聴く仕組みを実施する。	スケジュール設定・管理時の不具合の割合	%	0	0	→	5,395	5,435	↑
15	議員行政調査研究事業	議事調査課議事調査係	議会、委員会、会派及び議員が市政に関する調査研究や政策立案等を行う。	各種委員会、本会議の事務処理や運営を適正かつ効率よく行う。・議会運営委員会・連絡会議・全員協議会の運営を適正かつ効率よく行う。議会報告会の事務処理を適正かつ効率よく行う。・政務活動費に関する事務処理や議員との調整を適正かつ効率よく行う。	一般質問(代表質問)数	人	75	67	↓	6,542	6,587	↑
16	議会事務運営事業	議事調査課議事調査係	宗像市議会を規則等により、円滑な議会の開催、運営を行う。①各種議長会等での情報収集に努め、議会活動に反映していく。②民意による国県機関への要望・意見書の提出を行う。	議会要覧の作成、議会・委員会からの資料要求の対応、議員共済・議員互助会の庶務、議員の災害補償等の事務、議会議長会に関する事務、資産報告及び情報の開示請求に関する事務を行う。	議会定例会開催数	回	4	4	→	3,462	3,179	↓
17	監査委員費	監査委員事務局監査係	宗像市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理等が、適正かつ効率的に執行されること。	法令及び監査計画に基づき、監査及び検査等を実施する。	定期監査実施回数	回	11	15	↑	2,692	2,730	↑
18	工事検査	契約検査課契約検査係	①設計金額800万円を超える工事目的物について設計図書による契約内容に基づく検査を行うことにより、工事の適正な施工を確保し、品質の向上を図る。 ②工事成績評定、及び優良建設工事を表彰することにより、受注者の適正な選定、品質確保、及び技術水準の向上を図る。	契約の適正な履行を確保するため又はその給付の完了の確認をするため、工事検査を行う。的確な検査の実施による給付の完了を確認して、受注者から工事目的物を引き取る。 工事の品質確保を図るため、必要に応じて①工事担当者と受注者との第1回目工事打合に、基本的に工事検査員を加えて行う。②安全・衛生パトロールを行い工事の労働安全衛生及び公衆災害防止の徹底を図る。 また、特に優れた工事の施工者に対し優良建設工事表彰を行う。	完成検査件数	件	100	76	↓	127	80	↓
19	契約事務	契約検査課契約検査係	①入札・契約業務の透明性や公平性、公正性の確保と受注機会の均等及び競争性を確保する。 ②地域産業の育成を意識し、地域雇用の創出や市民生活の向上に寄与する。	・入札制度の整備:談合防止及び入札契約手続きの競争性・透明性・公平性を高める制度制定、運用及び改正。 ・入札参加資格審査:業者登録の受付及び登録業者の入札参加資格等の確認・審査事務・認定事務。 ・入札:発注課からの入札依頼、指名通知・一般競争入札参加資格要件公告、入札・開札・落札者の決定、契約締結、結果の公表。	入札件数	件	351	285	↓	6,373	6,369	↓

施策名: 計画的かつ効率的な行政経営（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費(千円)		
					指標名	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向
20	財務一般事務	財政課財政係	市財政状況が、安定的かつ継続的に市民サービスの提供を行えるよう、財政の柔軟性及び健全性を確保すること	現行の財務会計システムは導入から13年が経過しているため、更新を行う。更新にあたっては、現行のシステムにこだわらず、他ベンダーのシステムを複数比較検討するとともに、機能の追加等も検討を行う。	経常収支比率	%	92.9	92.1	↓	14,759	8,445	↓
21	公用車管理事業	財政課管財係	職員等が、公用車を安全に利用できる環境を維持するため、適切に維持管理するとともに、計画的な更新を行う。	・公用車の集中管理等による利用の効率化の推進 ・公用車の整備・点検の徹底 ・公用車の計画的な更新の実施	10年以上経過した車両の割合	%	21	15	↓	16,819	16,046	↓
22	軽自動車税課税事務	税務課固定資産税係	4月1日現在の軽自動車所有者等に対し軽自動車税を適正に課税し税収を確保する。	窓口及び軽自動車検査協会等で受け付けた申告書及び検査情報に基づき課税システムに登録し、適正に課税業務を実施するとともに納税通知書を発送する。 市登録の原付バイク等のナンバーを交付する。	軽自動車税調定額(現年分)	百万円	218	226	↑	3,427	3,431	↑
23	固定資産税課税等事務	税務課固定資産税係	固定資産税・都市計画税の所有者に対し適正に課税し税収を確保する。	各種課税資料調査、現況調査等を行い、各課税客体(土地・家屋・償却資産)を的確に把握し適正に課税業務を実施するとともに納税通知書を発送する。 次回の評価替えに向けて、鑑定評価業務、土地路線価評価業務、時点修正業務及び異動修正業務などの当該年度事業を実施する。	固定資産税調定額(現年分)	百万円	3,938	3,887	↓	36,578	17,397	↓
24	証明書等交付事務	税務課固定資産税係	各種税証明の申請者に対して、所得関係証明書、納税証明書、固定資産評価関係証明書、臨時運行許可証、住宅用家屋証明書及び地積図写し等を適正かつ迅速に交付し行政サービスを提供する。	各種税関係証明書の交付を正確かつ迅速に行う。 市民等の利便性を上げるためコンビニ交付を活用した税関係証明書発行サービスを推進する。	証明書等交付数(公用分除く)	件	24,946	23,214	↓	7,830	7,072	↓
25	審査出納管理事務	会計課審査係	職員が、正確かつ適正な出納事務にあわせて、事務の軽減を図る。	財務会計事務説明会を開催する。また、予算の受入や支払に関する調書等を厳正に審査確認し、適正で正確な会計事務を推進する。	不適正な財務処理件数	件	0	0	→	11,669	11,679	↑
26	公金管理事業	会計課審査係	公金について、安全かつ効率的な管理運用を目指すしていく。	基金運用については、安全性を重視し、金融情勢を的確に判断しながら、効果的の運用に努め、目標値の0.8%を目指す。	基金運用利回り	%	2.10	1.91	↓	6	3	↓
27	固定資産評価審査委員会費	監査委員事務局 監査係	固定資産税納税者が、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査申出を行うことで、適正な利益の確保を図られること。	審査申出があった事案について、固定資産評価審査委員会を開催し、審査決定する。	委員会開催数	回	2	1	↓	210	49	↓
28	安全衛生事業	人事課人事係	職員が、心身ともに健康で、良好かつ安全な職場環境で仕事ができる。	・総合健康診断など心と体の健康づくり事業の実施 ・衛生委員会の開催 ・ハラスメント対策推進事業 ・メンタルヘルス研修の実施 ・再任用職員の健康診断実施 ・ストレスチェックの一部外部委託化	EAPへの相談件数	件	304	252	↓	9,163	9,540	↑

施策名 : 計画的かつ効率的な行政経営（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費(千円)		
					指標名	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向	平成29年度実績	平成30年度実績	傾向
29	福利厚生事業	人事課人事係	職員が、心身ともに健康でワークライフバランスの取れた生活を送ることにより、仕事においてその能力を最大限に発揮する。	共済事業の周知徹底、職員厚生事業実施団体(宗像市職員互助会)への補助金の交付。宗像市職員互助会(理事会、総会等)の運営。互助会事業運営及び福利厚生事業の進行管理。	有給休暇取得日数	日	13.7	14.4	↑	2,591	4,554	↑
30	外部建築技術者登用事業	建築課建築係	行政組織が、実施する建築事業で良好な品質を確保し、コスト縮減を図ること。	事業量に応じて建築技術者(有資格者)1名程度を雇用する。	外部建築技術者登用者数(非常勤任用職員)	人	1	1	→	2,629	2,631	↑
31	公平委員会費	監査委員事務局 監査係	市職員が、地方公務員法に基づき措置要求・不服申立等を行うことで権利の保護を図られること。	法令に基づき、公平委員会を開催し、職員の法的権利の確保と、関係機関との調整をはかる。	公平委員会開催数	回	2	1	↓	342	306	↓